

令和3年度 入学式 式 辞

桜の花が咲き若葉が萌える春、新しい生命の躍動を実感できる今日の佳き日に、御来賓として本校PTA会長の御臨席を賜り、また保護者の皆様の御列席のもと、埼玉県立深谷商業高等学校「令和3年度入学式」を挙行できますことは、本校教職員、在校生にとりましても大きな慶びでございます。

ただ今、本校の入学を許可いたしました276名の新入生の皆さん、入学、誠におめでとうございます。教職員、在校生を代表しまして、皆さんの入学を心より歓迎いたします。

今、皆さんの胸中は、楽しかった中学校生活の思い出とともに、これから始まる高校生活への期待と不安でいっぱいであろうと思います。皆さんには、一日でも早く本校の校風や日常の生活に慣れ、将来の夢や目標に向かって邁進する姿を見せてもらうことを、大いに期待しております。

本校は、大正10年に、町立深谷商業学校として創立され、県内の商業高校としては、最も古い歴史と伝統を誇っています。大正12年に県立に移管されて、昭和14年までは、埼玉県立商業学校、「埼商」と呼ばれ、バッジにある一本の白線は「一商」、埼玉県で第一番目の商業高校であることを示しています。

また、大正12年には、この深谷市出身の近代日本資本主義の父と言われた渋沢栄一翁が来校され、「至誠(しせい)」「士魂商才(しこんしょうさい)」という毛筆の書をいただき、以来これが本校の校訓となっています。「至誠」とは、まごころを意味し、誠実な心をもって、様々な事にあたりなさいということです。「士魂商才(しこんしょうさい)」とは、義を重んずる武士の魂をもって、高い志をもった商人の才能をもちなさいということです。本校はこの校訓のもとに、数多くの有為な人材を輩出してまいりました。卒業生は26,000人を超え、諸先輩方は厳しい時代の流れを乗り越えてすばらしい校風を作り上げてくれました。大正、昭和、平成、そして令和と4つの年代に脈々と続く深谷商業高校で、皆さんは、「令和」の時代の生徒として、本校の一層の発展と新たな歴史を作り上げていくのだという気持ちで、それぞれの夢の実現に向けて力を注いで欲しいと思います。

そこで、本日は、皆さんの大切な高校生活のスタートにあたり、高校生活をどのように過ごして欲しいか、私なりの考えをお話いたします。

1つ目は、「常に学ぶ心を持ち続けて欲しい」ということです。皆さんがこれから活躍する時代は、多くの課題が山積しており、全世界の英知を集約しなければ解決できない課題も少なくありません。そのような社会を生き抜くためには、生涯にわたり知性を磨き、謙虚に学び続ける姿勢を持ち続けることが必要となります。そのためにも、是非、日々の授業を大切に、この3年間で基礎基本をしっかりと定着させ、自分の夢や希望に向かって、まじめに一生懸命、努力を積み重ねていくことを願っています。

2つ目は、「思いやりの心を持つ」ということです。人間は自分一人で生きているのではなく、人の支えがあって共に生きることができる存在です。高校は「学びの場」であり、人と人との絆をつくる大切な場でもあります。学校行事や部活動を通して、人の痛みがわかり、常に相手の立場に立って、物事を考えることのできる人になってもらいたいと思います。

皆さんのこれからの3年間は、決して平坦な道ばかりではないと思います。時には悩み、自信をなくし、希望や目標を見失うことがあるかもしれません。しかし、このような時、皆さんには、「最後まであきらめない、強い心を持って乗り越えて欲しい」と思います。「もうだめだ」とあきらめずに、努力する歩みを続けてください。歩めばきっと道は開けるはずです。歩みを止めてしまえば、それで終わりです。つまりくのは歩いている証拠であり、成長している証であるということを感じて欲しいと思います。これから10年後、20年後、大人になって社会に出て成長した時に、ちょっと昔を振り返ってみて、今の自分の原点は深谷商業高校で過ごした3年間であり、まさにその3年間で自分の人生の醍醐味であったと言えるような、夢と目標のある熱い高校生活を送ってくれることを期待しています。

保護者の皆様、お子様の御入学、誠におめでとうございます。高校の3年間は、人生の方向性を決定する大事な時期であり、悩み多き時期でもあります。私たち教職員は、お子様が、自ら生きる道を自分で切り開いていけるよう、全力を尽くして指導して参りますが、子供たちの健全な成長を図るには、学校と家庭とが、それぞれの役割を果たしながら、連携を密にしていくことが重要となります。どうか、本校の教育に御理解と御支援を、よろしくお願い申し上げます。

結びに、本日御臨席を賜りました皆様方に、改めて心から御礼申し上げますとともに、新入生の皆さんの高校生活が、より楽しく、有意義なものとなりますよう祈念して、式辞といたします。

令和3年4月8日

埼玉県立深谷商業高等学校 校長 西木 成男